

活動報告

団体名	Mステーション
活動名	西日本豪雨災害復旧活動に参加する災害ボランティア宿泊拠点の整備事業
活動期間	2018年7月～2019年5月
活動の成果	<p>立間地区は復旧作業が遅れていて私たちが入ろうとしたきっかけは行政の手が届いていなかったからです。高齢者さんの割合も多く被災者さんはどうしてよいか分からない状態で立ち尽くしておられました。とにかく支援物資も少なくて市役所まで遠く</p> <p>取りに行く手段がなく困っておられました。地域柄、人に迷惑をかけないようにとボランティアを遠慮される方が多く何度か炊出しをして配りニーズをきくことから始めました。被災地にMステーションができてからは安心して困りごとを私たちに話してくれるようになり作業効率も上がりました。SNSで呼びかけて全国からボランティアを募りMステーションに宿泊してもらい被災者さんとボランティアさんが協働できるようになりこの地域なくてはならない存在になりました。Mステーション宛に全国から支援物資も届くようになりMステーションに保管して必要な人のもとへ運んだりもしました。</p> <p>地域行事にも参加しました。恒例の秋祭りを被災地となったので行うか否かとの話もでしたが是非ともやってくださいとお声かけしてボランティア仲間を集めみんなで参加しMステーションで料理も振る舞い地域の方と共に収穫の秋を祝いました。</p> <p>基幹産業である柑橘栽培している山も被害に遭われており復旧作業と同時進行でみかんの収穫・選別・集荷など作業もお手伝いしました。発災直後にはみかんの出荷を諦めると言われていた農家さんもお手伝いに行くに涙ながらに有難いと仰ってくださいました。とにかく一人でも毎日被災地に通り出来ることをお手伝いしました。</p> <p>毎日メンバーで話し合い計画立てて協力し合い、困ったときには全国にいるボランティア経験者さんのお知恵を借りたり、直接来ていただいたりしてクリアしました。</p> <p>活動前の目標を上回るボランティア活動が出来たと思います。月日が経つとニーズも変化し分からないこと農協さんや行政の方へ問い合わせ、被災者さん一緒に乗り越えてきました。これからも被災者さんに寄り添いながら繋がりを絶やさず歩んでいきたいと考えています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回は、寄付を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>皆様からのご支援がなかったら私どもは長期にわたり活動を続けることができなかったと思います。皆様からのご寄付は被災者さんを救うことができたことさることながら救いたいボランティア活動したいと思った私ども団体を大きく支えてくださり感謝してしきれないです。被災者さんと強く太く繋がりこれっきりでなく今後もわが町である宇和島市吉田町を見守り続けたいと切に思います。</p> <p>微力ではあったかもしれませんが被災地の皆さんに喜んで頂ける活動ができたのではないかと考えております。</p>

(活動のようす)

